

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第4号

令和7年5月10日 事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

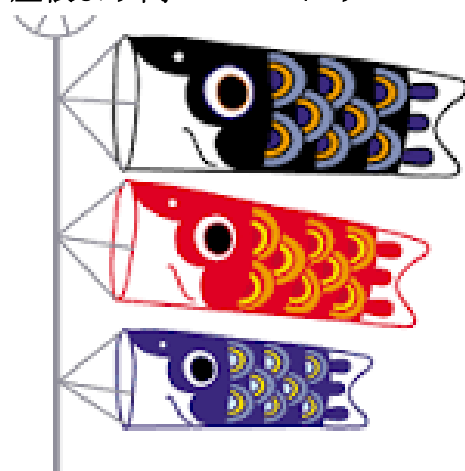
こいのぼり集会 幼稚部

校長 森 勝義

5月3日、早朝からの雨が心配されましたが、集会開始時には薄日が差してきて、無事に「こいのぼり集会」が開かれました。全員で歌を歌った後、代表の子どもたちがそれぞれのこいのぼりをあげました。保護者の方々も参観していただきました。子どもたちがゆり組、きく組で作成した自分の手形を付けたこいのぼりも、校舎の屋根より高く揚げました。そして最後に記念写真を撮って終わりました。



屋根より高いこいのぼり



幼稚部ゆり組



幼稚部きく組

4年1組 国語单元「なりきって書こう」より

萌花うさぎ（おにん形・5さい）

小学4年1組 金田 萌花

わたしはいつも萌花ちゃんが帰ってくるのを待っている。

なぜって、帰ってくるといつもわたしにぎゅーてしてくれて、おかしのところにつれてってくれるからだよ！ けれどときどき悲しそうに帰ってくることがある。そういう時はわたしとママにぎゅーしたり、わたしをだいて、ただいまも言わず上にいってしまう。

萌花ちゃんはやさしくて、どんなりょこうにも、わたしをつれてってくれる。萌花カンガルーちゃんはつれてかない。一度なぜ？と聞いたら、つれていきたいけど、大きいからむりなんだーといっていた。一度、ママがほかの作る？といっていたのを聞いてしまった。目のまえがまっくらになった。けれど、そのしゅんかん萌花ちゃんがなきだした。なぜならわたしをとっても大事に育ててくれたからだ。

わたしはこれからもずーと萌花ちゃんといっしょにいたいな。

わたしと萌花ちゃんのねがいがかないますように！

◎5月3日

<投稿作品> 土曜パラダイスで紹介

小学4年2組	油家 心海	「よねんせい えがおがびから まぶしいな」
小学6年2組	山口 清悠	「はるの日に しばかりするぞ あしたから」
小学3年2組	後藤 楓	「なつかぜが わたしをさそって ゆらゆらと」
小学6年1組	福原 みう	「もうすこし 漢字検定 いやすぎる」
中学3年1組	元中2ガール	「重そうな 本をもつた 小学生」
	読み人知らず	「あやねの下 かさをわすれて まちぼうけ」
	職 員	「いるかなあ 校長室を のぞく顔」
		ダジャレコーナー
小学2年2組	福村真那斗	「つるが つるって すべる」
小学2年1組	北川 菜弥	「あひるが ねぼうして あっ！ひるだ」



ヒゲ森の言葉の森・探検



しゅかく てんとう

主客転倒

取るに足らない物事を重視して、大事な物事をおろそかにすること。「客」は「きやく」とも。

頁番「トホニム」

小さいことこそ、

大きなことです。

フロレンス・ナイチンゲール

1820年〜1910年 イギリスの看護師。

健康でも人間関係でも、小さなことを見過ごしてはならない。何気ないことの積み重ねが、良くも悪くも、やがて大きなものに育っていくものである。